

広
報

いちのせき

ICHINOSEKI CITY PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

*Stylish & Smiling, Anytime Anything
By Your Side, With Your Life
www.city.ichinoseki.iwate.jp*

12!

December
2011 No.149



特集 不変を貫く不動の美学

本寺に生きる。



南部一郎の
かんたんカップケーキ



レシピ：一関市地産地消推進員
調理協力：若神子亭

【材料:5人分】(ミニ紙コップ5個分)
●南部一郎(ペースト)…大さじ2 ●米粉・グラニュー糖…各大さじ3 ●卵…1個 ●ベーキングパウダー…小さじ1 ●バター…10g
「デコレーション用」
●生クリーム…50cc ●グラニュー糖…大さじ1
●飾り用果物・菓子(好みで)…適量

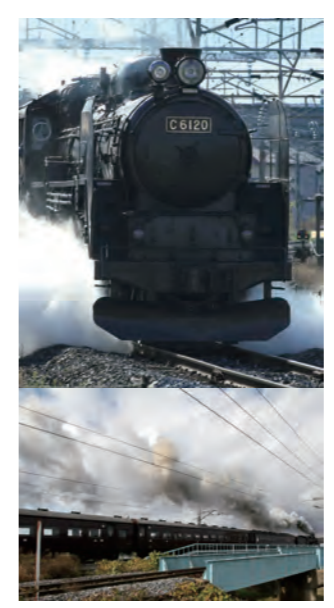
【作り方】
①カボチャ(南部一郎)をレンジで温める(3分)。皮から身を取り出しペースト状にする②紙コップにバター(分量外)を塗る③ボウルにバターとグラニュー糖を入れ、レンジで30秒温め、混ぜる→卵を加えてよく混ぜた後、ベーキングパウダーと米粉を入れてよく混ぜる④②の紙コップに③を入れ(等分)、レンジに並べて2分(750W)温める→紙コップから取り出す⑤グラニュー糖を加えた生クリームを八分立てにする④のカップケーキにデコレーションする(紙コップのままデコレーションしても良い)

★今月の素材「南部一郎カボチャ」
日本在来種(鶴首カボチャ)を改良した日本カボチャです。南部は南部藩から、一郎は鶴首カボチャの種を譲ってくれた人から、それぞれにちなんで名付けられました。甘みが強く(マンゴーの糖度と同じくらい)、生でも食べることができます。一関市巖美町の「骨寺荘園地区」で特産化に取り組んでいます。



COVER STORY

響く汽笛
復興へのエール



かつて、東北発の特急「はつかり」や寝台特急「はくつる」をけん引し、東北本線の花形だったC61型蒸気機関車が11月19・20の両日、一ノ関駅から北上駅間を運行しました。
このイベントは、復興へ向けて頑張る岩手に元気を送るとも

に平泉の世界遺産登録を記念し企画されたもの。17日には、県内の被災者などを招待した試乗会も催されました。
初冬の岩手路を駆け抜ける蒸気機関車の雄姿と鳴り響く汽笛が、復興へのエールを届けてくれました。

CONTENTS

- 02 地産地消レシピ
南部一郎のかんたんカップケーキ
- 02 COVER STORY
響く汽笛 復興へのエール
- 03 特集 不変を貫く 不動の美学 **本寺に生きる。**
- 16 市議会議員 増員選挙 藤沢地域から3人が選出
- 17 Pick_Up
藤沢・B&G 海洋センターでウオーターボーイズショー
- 18 百年目の寿
畠山志津可さん、及川キミさん、小野寺フユミさん、菅原ナツさん、千葉ナミ子さん、村上仁志さん
- 20 まちのトピックス
市民のひろば
- 22 まちかどクローズアップ(祭りプロジェクト) /キッズ写真館/ふれーふれークラブ(猿沢中) /笑顔でGOOD(及川春菜さん) /ウチのこ自慢
- 24 12月の健康コーナー
- 26 News & Information
図書館だより/博物館だより/掲示板/暮らしの情報
- 32 わたしの夢
及川涼香さん(南小)

不変を貫く不動の美学 本寺に生きる。

中世荘園絵図の景観が今なお残る貴重な遺跡
未来に伝えたい日本の農村風景



写真 愛犬の散歩は日課。佐々木勲さん(巖美町字駒形)。巖美町字神要害の小道で。

ここには、中世から変わらない美しい風景がある。
ここには、中世から変わらない温かい人情がある。
ここには、日本の農村を再起動するヒントがある。

厳

美町の本寺地区は、かつて「骨寺村」と呼ばれた莊園(経文を管理する土地)で、中尊寺の経蔵別当(寺務を総裁する僧)の所領だった。

平安浄土の国づくりを理想に掲げた藤原清衡は、「紺紙金銀字交書一切経」(国宝)の完成に功績のあった自在房蓮光を中尊寺経蔵の初代別当に任命した。蓮光は私領の骨寺村を経蔵に寄付し、骨寺村は室町時代まで経蔵別当領として経営されてきた。

「吾妻鏡」は鎌倉時代の歴史書である。これによると、骨寺村は、藤原氏滅亡後も源頼朝から莊園として認められたことがわかる。中尊寺大長寿院には、鎌倉時代から南北朝時代に描かれた2枚の絵図が残されている。絵図は藤原氏に代わって支配を任された地頭・葛西氏が、莊園に対して自分の領地であるかのような動きをしたため境論争が起こり、その際に作成されたとされている。駒形(栗駒山)を正面に、仏教色豊かな中世の莊園世界が描かれていて、当時の姿を思い浮かべることができる。

現代に息づく中世の風景

01 魅力



景観

曲がりくねった水路、小規模で不整形な水田、イグネに守られた点在する家々、要所に祭られた神社など、本寺に描かれた絵図とよく一致している①中世から変わらない小區画水田②本寺川沿いに広がる莊園の主要部③中澤の伝統的な農家建築のたたずまい④要害橋から見える不動窟上空に昇った満月⑤栗駒山(須川岳)に日が沈む光景は、まさに西方浄土の世界

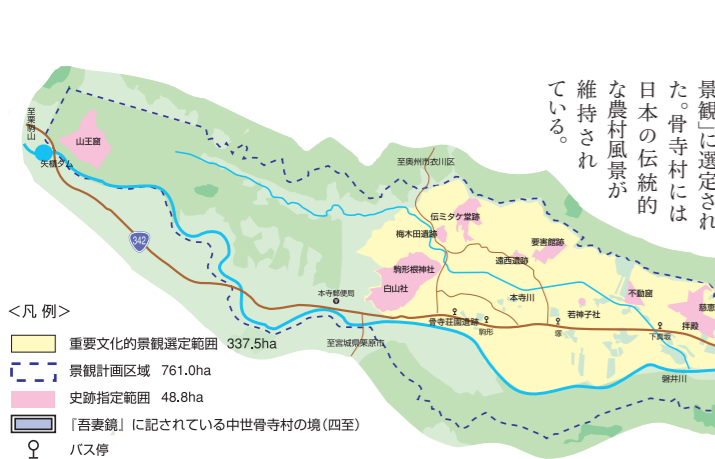


白

然豊かな本寺地区は四方を山々に囲まれている。盆地には曲がりくねった水路や小區画の水田が広がり、田屋敷と呼ばれるイグネ(防風林)に守られた家々が散居している。絵図に描かれた社や小さな祠が所要所に祭られている。

絶え間ない営みが生み出した穏やかな農村風景は、自然と共に生きてきた本寺の人たちが築き上げた日本の原風景。絵図と変わらない世界をリアルタイムに体験できる。

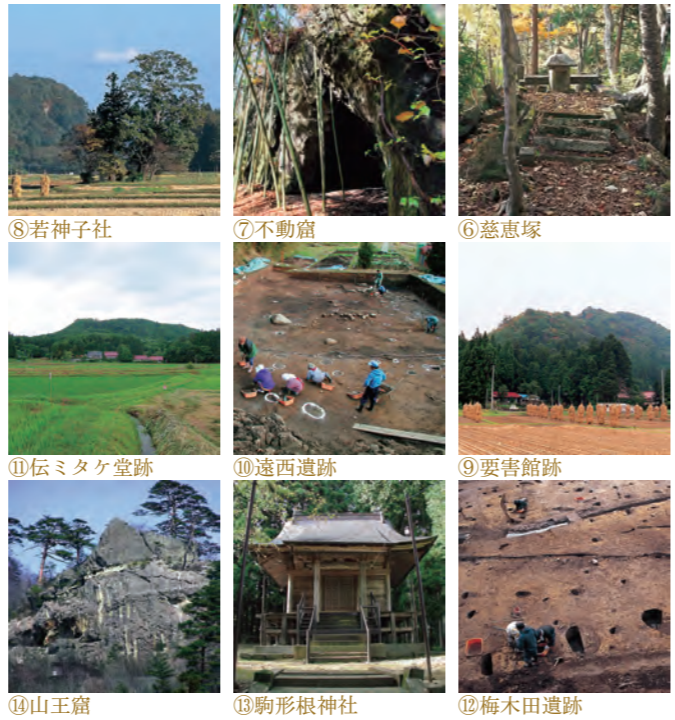
全国的にもまれな遺跡は、奥州藤原氏ゆかりの莊園遺跡であるとともに、本寺の人たちの暮らしの場である。中世から維持されている稀少性は、各方面から高く評価されている。歴史の証拠による寺社、岩屋など9つの区域は05年国の史跡に指定された。また、美しい農村空間は景観計画区域に定められており、その中核エリアは06年国の重要文化的景観に選定された。



歴史

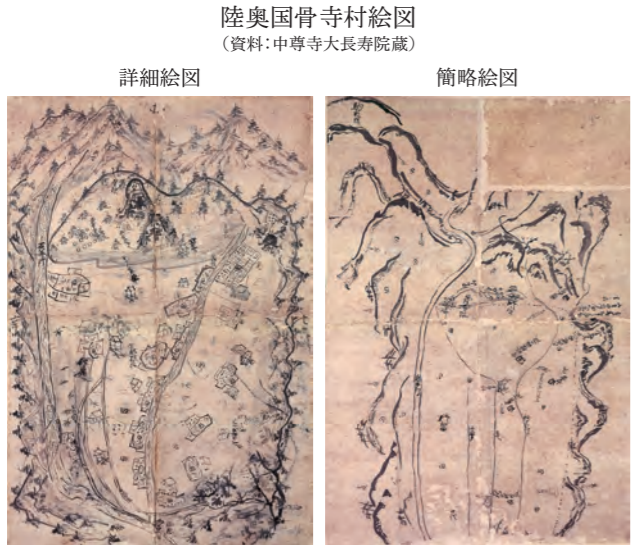
絵図に「骨寺跡」「骨寺堂跡」という文字と建物の礎石のような図像が描かれている。かつてここに骨寺という寺があり、鎌倉時代後期には廃寺になったことがわかる。「骨寺村莊園遺跡」には、国の重要文化財「陸奥国骨寺村絵図」に描かれた中世の世界をリアルタイムに体験できる景観が広がっている。歴史的証拠による寺社、岩屋など9つの区域は05年国史跡に指定された。これらの史跡に加え、水田、居住域と里山の範囲が景観法の「景観計画区域」に定められている。そのうち中核部は06年文化財保護法の「重要文化的景観」に選定された。骨寺村には日本の伝統的な農村風景が維持されている。

国史跡(骨寺莊園遺跡)



史跡


⑥慈恵塚(てえつか・拝殿(はいでん)：逆柴山の頂きにある石を積んで造られた塚。平泉方面から骨寺村を訪れる際の入り口。山裾の拝殿には慈恵大師が祭られている⑦不動窟(ふどうのいわや)：慈恵塚西側の山の中腹にある岩屋。修験活動の痕跡と考えられている⑧若神子社(わかこしや)：風土記は吾勝尊小確尊を祭る六所明神と伝え、ワカミコの呼称にちなんだ研究などでは口寄せをする巫女の守護神を祭る場所と説明⑨要害館跡(ようがいだてあと)：要害屋敷の裏山にある山城で本寺十郎左衛門の居城。莊園の終末を示す遺跡⑩遠西遺跡(とんせい)：12〜13世紀の土器類が発掘された莊園時代の生活の跡⑪伝ミタケ堂跡(でんみたけどうあと)：山岳信仰の聖地⑫梅木田遺跡(うめのだいせき)：平泉の遺跡と同じ柱間を持つ建物跡。莊園経営の重要施設⑬駒形根神社(こまがねじんじや)・白山社(はくさんじや)：駒形根神社は栗駒山を祭り、白山社は白山比咩神を迎えた場所⑭山王窟(さんおうのいわや)：天台宗本山延暦寺の地主神・日吉山王神を祀る窟。骨寺村が天台宗寺院である中尊寺の所領であることを強調する岩屋



絵図

骨寺村絵図は、東西南北の境が示されていて、田屋敷などの様子が写実的に描かれ、村の雰囲気も伝えている。絵図を見ながら現地を歩くと、中世の莊園世界を思い浮かべることができる。簡略絵図⑤(仏神絵図)は鎌倉時代に、詳細絵図⑥(在家絵図)は鎌倉時代から南北朝時代に描かれたものとされている。骨寺村の領主だった中尊寺経蔵別当職を継承した大長寿院に伝えたものであり、中世の村落景観をうかがうことができる貴重な資料で、95年に国重要文化財に指定された。2枚とも栗駒山須川岳を正面に、東は鏡懸、西は山王窟、南は岩井河(磐井川)、北はミタケ堂馬坂に囲まれた領域が描かれている。

いわいの里ガイドの会 菅原勲さん



本寺には年間30万人もの人が訪れている。海外からの観光客も多い。ドイツから訪れた一行の中には、本寺川沿いに広がる水田とそれを囲む山々が織りなす独特の風景に「神々が降臨する里山」と絶賛した人もいた。世界遺産登録にはならなかったが、本寺は故郷一関の誇り。まずは、市民の皆さんにこの価値を知ってほしい。

Sugawara Isao



92年から学生らと調査に訪れている。本寺の小区画水田は、明治の地割りを残している。一生懸命生きてきた人たちは、故郷への愛着や農業への思いが強い。農村調査をしながら感じた。日本の水田農業は圃場整備によって大規模化された。一方で、品種、結いさ精神、家族労働など古くから伝わる大切なものが失われている。かつての農村の豊かさを取り戻してこそ、地域の文化ははぐくまれていく。本寺の取り組みは景観行政の起爆剤。本寺地区から蔵美町全体へ、その輪を広げたい。

本寺から蔵美全体の景観保全へ

吉田敏弘さん

Yoshida Toshihiro
国学院大文学部教授

① 保存会の会員から刈った稲の束ね方を教わる学生
② 無農薬栽培された酒米の「亀の尾」。通常の稲より黒っぽいのが特徴③ 稲は一株ずつ鎌で刈った。明治時代と同じ手法だ④ 足を取られて転んだ蔵美中の生徒。泥だらけになっても笑顔⑤ みんなで食べる昼食は格別。会話も弾み、親交は深まる⑥ 国学院大の学生、本寺小の児童、蔵美中の生徒と地元農家ら約40人が参加。まさに地域を挙げての収穫となった



①

人と自然が共生し、長い年月をかけてはぐくまれてきた本寺の農村景観は、全国的にもま

れた。
東京・国学院大文学部教授の吉田敏弘さんは大学院時代、骨寺絵図の論文をまとめるために2年間、本寺地区を調査した。以来、30年以上にわたって本寺地区の小区画水田や曲線状の水路などの保全に関わってきた。その特徴について▼中尊寺に残された絵図に描かれた

寺の(制約された地形を生かした水田開発史を今に伝えていること。景観保全を地区住民だけに任せず、行政や都市住民など、みんなで協力していかなければならない」と訴えてきた。
06年からは「都市住民が保全に協力できる方法を探りたい」と、荘園内の休耕地を国学院大の学習田に借りて、学生たちと農作業体験に汗を流している。

骨

寺村荘園遺跡内の国学院大学習田で10月16日、恒例の稲刈りが行われた。

稲刈りには同大の学生、本寺小の児童、蔵美中の生徒と地元農家ら約40人が参加。農家の指導を受けながら、佐藤正人さん(75)の15アールと鈴木勇さん(59)の7アールで無農薬栽培された酒米の「亀の尾」6アール、「ひとめぼれ」8アール、「こがねもち」8アールを一株ずつ鎌で刈った。刈り取った稲は「ほんによ」に掛けて乾燥。作業後はもちつきをして交流を深めた。
初めて参加した蔵美中3年の佐藤光君は「足を取られて転びそうになった。早く収穫した米を食べたい」



⑤



④



③



②

史跡が今も姿をとどめている▼曲線状の農道、用水路や畦畔が残されている。ここを挙げ、「大区画の圃場整備が実施されなかったために現存する本寺の伝統的農村景観は全国的にも稀少」と語る。
一方で、「特筆すべきは(本

と)につこり。2回目という本寺小3年の佐藤由奈さんは「稲を束ねるのが難しかったけど、刈るのは上手にできた」と満足そう。国学院大学院3年の鈴木修一郎さんは「今年で6年目。土とふれあい、人と出会うことで五感が磨かれている。食への感謝の心も持てるようになった」と言葉弾ませた。

今

回から、本寺地区だけでなく蔵美町全体で重要な文化的景観を保全していくため、「本寺地区小区画水田保存会(佐藤正人会長)を設立。中世の風景を地域全体で保全していく。学習田を提供した佐藤正人さんは「重要な文化的景観の選定は吉田教授抜きには語れない。恩返しのため協力した。これからは学生たちとの親交を深めていきたい」と思いを込めた。

吉田教授は「蔵美町全体で本寺の景観を守る趣旨に賛同してもらい、今回初めて蔵美中の3年生らに協力してもらった。本寺だけでなく照井堰や大江堰など磐井川流域の農業資産の研究を通して蔵美町全体の景観を保全していきたい」と意欲を見せている。



一関市立本寺小学校
佐藤由奈さん 3年

稲刈りは2回目。今日はお母さんと一緒に参加した。とても楽しかった。田んぼの中は歩くのが大変だったけど、上手に刈ることができた。来年も参加したい。自分で刈ったお米を食べてみたい。

一関市立蔵美中学校
佐藤光さん 3年

キャベツやトマトなど野菜の収穫を手伝ったことはあるが、稲刈りは初めて。足を取られて転びそうになった。自分で収穫した米は格別だと思う。学校では野球部の投手。将来は消防士になりたい。



国学院大大学院文学研究科史学専攻
鈴木修一郎さん 大学院3年

米づくりに関わって6年目。生産者によって同じ米でも味は違う。本寺の人たちの交流は自分にとって心の支え。ここに来て、水の冷たさ、土の温かさを感じる人間になることができた。



⑥

02 協力

本寺の農村を守るため 支え合う人たち

東京・国学院大の学生と地元の人たちによる稲刈りが10月16日、骨寺村荘園遺跡内の小区画水田で行われた。農業農村を守るために支え合うその姿から見たものとは？



⑧



Igarashi Shoichi

骨寺村荘園交流館長
五十嵐正一さん

雨にもかかわらず約千人の人が来てくれた。地元で取れた食材や手作りの加工品が大変好評だった。「振る舞い」が目的のイベント。市内外から来てくれた人をもてなすことができて満足だ。

東京都杉並区から参加した
松村謙一さん 53歳 会社員



Matsumura Kenichi

仕事で岩手に来た。須川に行く途中、ここで食べたおにぎりの味が忘れられなくて、また寄った。縁起物の果報団子が当たり感激した。都会にはないのどかな景色がいい。また来たい。

宮城県気仙沼市から参加した
佐々木宏幸さん 59歳



Sasaki Hiroyuki

妻(さえ子さん)と息子(俊さん)と温泉の帰りに立ち寄った。皆さん笑顔で迎えてくれたのがうれしかった。本寺は活気がある。おにぎりがおいしかったので荘園米を買った。早く食べたい。

県立一関二高音楽部顧問
村上博恵さん 教諭



Murakami Hiroe

初めての野外。よく声が出た。本寺の皆さんが温かく迎えてくれたことに、傘を差しながら聞いてくれたことに生徒たちは感動していた。地域の皆さんに支えられて歌えることがとてもうれしい。

骨寺村荘園交流館「若神子亭」
Wakamiko Tei



一関市巖美町字若神子241-2
食堂 11:00~15:00
産直 9:00~16:00
Tel & Fax 0191・33・5022
http://www.honedera.jp/

①昔ながらのきねと臼を使ったもちつきイベント。きねでついた来場者は大はしゃぎ②つきたての餅は、あんこ餅と納豆餅にして振る舞われた③④販売ブースには本寺産の新鮮野菜や手作り加工品などがずらり。雨天にもかかわらず、大勢の人でにぎわった⑤会場入り口付近に設けられたかがり火⑥特産品の南部一郎カボチャ。カボチャペーストを使った果報団子も販売された⑦地元食材をふんだんに使った熱々の芋の子汁は大人気⑧広場で開かれた一関二高音楽部のコンサート。この空間、この時間にしか聞くことのできない透明感ある美しい歌声は、集まった多くの人を魅了。「ふるさと」や「愛燦燦」「世界が一つになるまで」など全10曲を歌った



①



03 活力

地域を再生したコミュニティ

本寺が揺れた。中世から続く景観の保全か、圃場整備による営農の推進か。地域の将来を巡って対立、繰り返した激論、そして苦渋の決断。本質を求めて前に進んだ地域づくりの舞台裏を追った。

景

観保全と営農推進。相反する二つのうち、本寺の人々は、景観を守ることを選んだ。

本寺地区では過去3回ほど圃場整備に取り組み動きがあったが、自己負担率の高さなどがブレーキになって頓挫した。

その後、補助率が高く自己負担が少ない中山間地域総合整備事業などが創設され、事業採択に向け準備を進めていた。しかし、骨寺村絵図が国の重要文化財に指定され、遺跡調査が必要になったことで、中断を余儀なくされた。

圃場整備と遺跡保存の調整を目的に発足した「骨寺荘園遺跡調査整備指導委員会」。委員長を務めた国学院大の吉田教授は「中世から続く本寺の景観を保全すべきだ。特に用水路は残したい」と見解を示した。

これに対し、生産性・効率性の向上を望む住民たちは猛反発。景観保全と圃場整備を巡って真つ向から対立した。激論を繰り返した末、骨寺荘園跡地が平泉の文化遺産の核心地域候補であるなどの理由から導き出された結論は景観保全。苦渋の決

光客らは、多彩な催しや食を通して地元の人たちと交流を深めた。

収穫祭は初めての取り組み。会場では熱々の芋の子汁や甘酒が振る舞われたほか、▼本寺地区で収穫された農産物▼手作りの漬け物・総菜▼骨寺村荘園米のおにぎり▼南部一郎カボチャを使用した果報団子などが販売され、大勢の人で賑わった。交流館南側の広場では、県立一関二高音楽部のコンサートが行われた。静かな里山に響きわたる美しいハーモニーは、本寺の景観と相まって、日本昔話の世界をほうふつ

断だった。

本

寺地区地域づくり推進協議会(佐藤勲会長)は04年、懸案事項の圃場整備と世界遺産登録をも視野に入れた地域づくりを模索するために発足された。▼地域おこし▼地域営農▼景観▼女性―の4部会を設け、活動している。

国内で初めて、農地の世界遺産登録を目指した道のりは平坦ではなかった。過去に経験したことのない難題が山積する中、手探り状態で進まざるを得ず、協議会も市も紆余曲折を余儀なくされた。協議会は年間70〜80回も

の会合を重ねながら、二つの課題を克服。険しい道のりを地域の絆で前に進んだ。一歩進むたびに意識は統一された。一段上るたびに実践力がついた。こうして、田植えや稲刈り体験など、多くのイベントを自ら成功させるまでに成長した。

骨

寺村荘園収穫祭(本寺地区地域づくり推進協議会主催)は11月6日、骨寺村荘園交流館「若神子亭」で開かれた。朝から雨が降ったり、やんだりのあいにくの天候となったが、県内外から訪れた多くの観

とさせる時間と空間を創り出した。

午後はきねと臼を使った昔ながらの餅つきが行われた。「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせてついた餅は、あんこ餅と納豆餅にして振る舞われ、好評を博した。

同協議会事務局次長で骨寺村荘園交流館の五十嵐正一館長は「初めての開催にもかかわらず、地元はもとより他県からも多くの人に来てもらった。骨寺荘園という一面だけでなく本寺の本質をPRする機会になった。来年度以降も続けていきたい」と意欲を見せている。

努力 極上の日常を未来へ継ぐ人

兎(うさぎ)追いしかの山、小鮒(こぶな)釣りしかの川…

唱歌「ふるさと」に出てくる懐かしくも極上の風景は、本寺の人たちにとっては日常の風景だ。

そんな美しい本寺を現在進行形のまま未来へと継ぐために、努力を重ねる人たちがいる。

1947年一関市生まれ。
30年以上にわたり、骨寺村の歴史について研究を重ねる。
09年4月に研究の成果である「骨寺の時代」を自主発行した。
現在も農業の傍ら、研究を続けている。
妻、長男、長女、父と5人暮らし。巖美町字沖要書在住。65歳



かつての莊園骨寺は
俺たちの故郷だ
時代に逆行しても
守りたいものがある

兎追いしかの山
本寺は心のふるさと
懐かしい日本の原風景が
残されている



1936年一関市生まれ。
元本寺地区地域づくり推進協議会副会長。
今年発足した本寺地区小區画水田保存会の会長を務める。
国学院大学の吉田教授とは95年からの付き合いで親交が深い。
妻、息子夫婦と4人暮らし。巖美町字若神子在住。75歳

佐藤光男さん

S A T O U M I T S U O

「市街地から遠い本寺に生まれ育ったことに負い目を感じていた」と胸の内を明かす。30歳の時、市内のある人を訪ねた。そこで「本寺は一関で一番良いところ。本寺のことを知っているなら教えてほしい」と言われた。褒められたことで意識が変わった。地域への誇りが芽生えた。「地域を知らなければ、何も始まらない」と早速、骨寺の研究を始めた。以来、莊園に縁のある土地に足を運んで、関係する文献や資料を読みあさった。「毎晩遅くまで勉強した。徹夜したことも少なくない。同じ本を最低3回は読み直した」と振り返る。地域への負い目を誇りに変えて、研究に没頭する毎日。骨寺の歴史をひも解いては真の価値を見出していく。観光客などを対象にボランティアガイドをしている。その中で「荒れ果てた田んぼを

案内するのは忍びない」と地主と交渉し、自ら耕作放棄地を耕している。小區画水田に大きな機械は入れられない。周りからは「今の時代にこんな苦勞して何になる」と言われたことも。「時代に逆行していると思う。手間もかかるし、生産性もよくない。それでも続けたいと思うのは本当の価値を知っているから。粗末にできないんだ。骨寺を」とほほ笑む。本寺の土地を守る活動の傍ら、長年の研究成果を冊子「骨寺の時代」にまとめた。「記録として残さないと、忘れられてしまう。大事なことは次の世代へ語り継いでいきたい」ときっぱり。「今の平泉は本寺から生まれた」という持論が繰り返される「骨寺の時代」には、30年にわたり蓄積してきた光男さんの知識と地域への誇りがぎゅっしりと詰まっている。

佐藤正人さん

S A T O U M A S A T O U

「日本人なら誰もが描く懐かしい農村のイメージ、それが本寺だ」と語る佐藤正人さん。今年発足した本寺地区小區画水田保存会の会長だ。国学院大の吉田教授とは95年からの付き合い。莊園内の小區画水田を学習田に提供している。同大学は、12年から化学肥料を使用しないやせた土地からどれだけ収穫できるかを5年計画で実験する。水管理や除草など、日常の管理は正人さんが受け持つ。「明治時代の耕作方法だから手間はかかる。その分、じっくり田んぼと付き合い合える。吉田教授には言葉にできないほどお世話になった。行動で恩返ししたいと思っていたから協力は惜しまない。収穫した米は学生の皆さんに送ってあげるつもりだ」と感謝する。小さな區画の水田と曲がりくねった水路が本寺の特徴。大規模営農時代、生産性や効

率性を求めて圃場を整備したり、大型機械を導入したりする農家が増える一方で、正人さんは旧来の方法で地道な耕作を続けている。「本寺には、唱歌『ふるさと』の歌詞に出てくるような、どこか素朴で懐かしい日本の原風景が残されている。まさしく心のふるさとだ」と紅葉が美しい山々に囲まれたあぜ道で笑う。近年、本寺地区には年間30万もの人が訪れている。「地域が一つになって、おもてなしの心で迎えなければならぬ」と将来を見据える。さらに「景観はもちろん郷土料理、神楽など、先人たちから受け継いだ文化や風習を守り、つないでいくことが自分たちの使命」とも。愛する故郷だからこそ、誇りを持てる。誇れる故郷だからこそ、守りたいと思う。誰よりも本寺を愛している。

小池敏雄さん

鳥居立て替えの原木を寄贈した2人に聞く

本寺に通うわけ

谷崇守さん

駒形根神社の鳥居立て替えのために、原木を寄贈した小池敏雄さんと谷崇守さん。
関西在住の2人をそこまで動かしてしまう本寺の魅力とは？

一本寺を訪れたきっかけは？

小池 標識や案内板などのセールスに来た。本寺のことは知らなかった。ガイドしてくれた佐藤光男さんとは初対面で意気投合。家に泊めてもらった。一晩中、骨寺の歴史を聞かせてもらった。
谷 熊野、比叡山、京都など世界遺産を回っていた。6年前から平泉に足を運ぶようになり、小池に誘われて本寺を訪れたのがきっかけ。

鳥居の材木を寄贈した理由は？

小池 関西だけでも約150カ所の寺社仏閣や霊場を担当した。寺社仏閣に詳しい自分でも駒形根神社は特別だと感じる。ここの特徴は神仏一体で昔から変わっていないこと。明治の初めに、それまで一緒にあった神社と寺の多くは切り離された。だが、ここには両方ともある。歴史的な背景が深い。何度か訪れるうちに気になり出したことがある。木の鳥居がないことだ。聞けば、老朽化した鳥居を直すことができなかったという。古くから神社に守られてきた鎮守の森に鳥居は欠かせない。「自分たちにできることがある」と思って動き出した。

なぜ比叡山から？

小池 本寺は中尊寺とつながっており、鳥居の原木は中尊寺と縁のある場所がいいと思った。比叡山から少し離れた場所に明王院という有名な天台宗の修行場所がある。中尊寺の執事長さんもここで修行した。こういうつながりを大事にしたかった。形もこだわった。建立した鳥居は、伊勢神宮の一番内宮に建つ鳥居と同じ形。伊勢神宮では20年に1度、内宮と外宮を同じに建て替える「式年遷宮」が行われる。次は2013年だ。その際、古材を譲り受け、駒形根神社の拝殿や本殿の改修に利用したい。岩手・宮城内陸地震や東日本大震災の復興の一助になればうれしい。

谷 伊勢神宮の古材は通常、譲ってもらえない。小池が懇意にしている宮司さんに頼み込んで話をつけた。

そこまで二人を引きつけるものは？

小池 本寺の人たちとのつながり。これに尽きる。光男さんのように、初対面にもかかわらず「泊まっていけ」と言ってくれる人はそうはいない。そんな人たちと出会いに引き込まれた。本寺の魅力

は、自然であったり、人であったり…と言いたいところだが言葉では表せない。なぜならそれは「心」にあるからだ。付き合いが深まれば深まるほど人情や愛情を感じてしまう。そんな素朴さや温かさがたまらない。

谷 お金に代えられない付き合いだ。本寺に来て、真っ先に感じたのが「日本のふるさと」を象徴する原風景。本寺の里山、鎮守の森、神社、寺などを見て、今に生きる私たちが忘れかけている「日本人が住むべき場所」を痛切に感じた。気候や風土がはぐくんだ農村風景、ここに生きる人たちの素朴さ、温かさなど、来て、見て、触れた人にしかわからない豊かさを実感できる場所が本寺だ。初めはビジネスで来たが、ここで仕事はできない。商売抜きに引き込まれてしまう。これからも心の通った付き合いを続けていきたい。

小池 伊勢神宮の古材を譲り受けるまでは、駒形根神社、中尊寺、伊勢神宮と私の関係は続く。近い将来、半年くらいは本寺で暮らすことになるだろう。もちろんその後も親交を深めていきたい。



①



引力

多くの人を惹き付ける
神々が宿る場所



②

駒形根神社は、本寺地区の水田を一望できる鎮守の森にある。恒例となった秋の例大祭は10月13日、同神社で開かれた。大祭には地元の人たちなど約50人が参列。拝殿で行われた神事では、茂庭義満宮司の祝詞奏上に続き、同神社の別当5人が玉串をささげ、出来秋を祝った。
続いて、達古袋神楽の鶏舞が奉納された。神楽殿では太鼓とかねに合わせ「安宅の関」など3番を披露。勇壮な舞は、集まった人々を魅了。中には涙する人も。
建立された鳥居に使われた木材は信仰の山として名高い比叡山から運ばれてきたもの。寄贈したのは、本寺の人たちと親交の深い関西在住の小池敏雄さんと谷崇守さん。同日は、二人も参列し、地域の人たちと共に実りの秋に感謝し、鳥居の建立を祝った。

素朴さ、やさしさ、温かさ。それが本寺の魅力



Koike Toshio

Tani Takashi



④



③

①鎮守の森に建つ駒形根神社 ②勇壮な舞を披露する達古袋神楽保存会の皆さん ③拝殿で行われた神事。祝詞奏上や玉串を捧げて出来秋を祝った ④神楽に盛んな拍手を送る本寺の人たち。中には涙する人も

1956(昭和31)年から駒形根神社の祭儀に携わってきた。新しい鳥居は大変ありがたく、神社として鳥居が増えるのはうれしい。木造なので、痛まないよう大事に守っていきたい。



駒形根神社宮司
茂庭義満さん
Moriwa Yoshimitsu

本寺の一番の財産は人だ
使命は故郷を守ることに

温 和な人々

本寺地区のイベントや行事は、全てボランティアの力で行われている。収穫祭も、それぞれ仕事があるにも関わらず、みんな集まってくれた。互いに協力しあい、力を合わせて頑張るからこそ、良いものができるのだと思う。

その原動力は家庭であり家族だ。夫婦の仲や親子の関係など、家庭がうまくいってればこそ、地域のことも主体的に関われる。本寺の人たちは皆さん温和人たちばかり。どこの家でも快く送り出してくれる。イベントや行事に参加してくれる人はもちろん、留守の家を守ってくれる家族にも感謝したい。

本寺を訪れる人は年々増えており、約30万人に上る。本当にありがたい。その一方で、地域の少子高齢化は加速度を増している。これまでのような、一つの方向性や手段としては重要なことだと思いが、大切なのは骨寺を、本寺をいかにして守っていくかだ。

ここは国の重要な文化的景観である前に本寺の人たちの生活の場である。景観保全と生活環境の両立には、人材が不可欠だ。現在、個人やボラン

に、全てをボランティアで賄う仕組みでは継続することは難しい。一人一人の負担を減らせるような仕組みを再構築する必要がある。

故郷の誇り

本寺は一関市西部の山間地だ。私は小さい頃、本寺に自信を持ってなかった。学校は小さいし、人口も少ない。中心部（市街地）の人たちと交流する機会もなかった。中心部の人たちは、なかなか本寺に目を向けてくれることはなく、「本寺ってどこ？」と聞かれることも少なくなかった。

人は地域への自信や誇りを持ってなくなると、消極的になってしまう。それではダメだ。意識を変えなければと思った。大人になった。県職員だった私は、転勤があっても本寺から通った。本寺から離れたことは一度もない。

ティアが本寺を守っているが、このまま少子高齢化が加速すれば、住民レベルで本寺を守っていくことは困難になる。

生活を守る、農業を守る、景観を守る、情報を発信するなど、本寺の地域づくりは多岐にわたる。これらをマネジメントするためには、市や関係

トップに聞く本寺のビジョン

佐藤勲さん

温かい人々と中世の農村風景は故郷の誇りだ。全ての人の知恵を集めて、新しい時代へ挑む本寺地区地域づくり推進協議会の佐藤勲会長に聞いた。



2012年度の完成を目指し、工事が進む展示棟(奥)。隣接する「若神子亭」と共に骨寺村の歴史、景観や文化を伝える

本寺の風景は、中世から変わらない「不変」の風景だ。それは日本人の心に宿る「普遍」の風景でもあり、その価値は世界にも誇れるものである。今は、そんな素晴らしい土地に暮らせることを心から誇りに思う。

知恵を集めて

本寺から内外に情報を発信をしているが、まだまだ多くの人に理解してもらうには至っていない。私たちの力不足だ。

今年7月、骨寺村荘園交流館「若神子亭」の管理棟部分がオープンした。ここを本寺の地域づくりの拠点に、骨寺村の情報発信の拠点にしたい。

来年度中には隣に展示棟も完成する。若神子亭と展示棟が、骨寺の歴史、景観や文化を伝える施設として確実に機能するよう、知恵を集めて運営を考えたい。

機関・団体の支援、協力を得ながら、組織的に取り組んでいく仕組みが必要だ。法人化なども視野に入れた運営システムの検討が急務だ。

骨寺は先人たちから受け継いだ本寺の財産だ。同時にそれは、国が認めた日本の財産でもある。大事なことは、骨

一関ニューツーリズム協議会が設立された。グリーンツーリズムと本寺をタイアップできないかを模索している。観光客は年配の人が多い。これからは子供たちや若い世代に関心を持ってもらうことと九州や四国など遠方から訪れる人たちの受け入れなどが課題だ。農業体験はもちろん教育旅行の受け入れなども考えていきたい。

地域を活性するために考えることはたくさんある。若神子亭を拠点に、みんなで議論し、知恵を出し合い、魅力ある本寺をつくっていききたい。

新たな時代へ

「世界遺産登録から外れて残念ですね」とか、「今後、登録に向けてどんな活動をしますか」などとよく聞かれるが、私たちは世界遺産登録を目標に地域をつくっているわけでは

寺を守ってきたのは人であり、本寺をつくってきたのは人であるということ。そのことを忘れてはならない。

みんなが互いの価値を認め合いながら、互いの持ち味を発揮し合いながら、共に未来を切り開いていく地域づくりを進めたい。私たちの使命はその基盤をつくり、次の世代へと引き継ぐこと。それが故郷を守ることに繋がると信じている。



●さとう・かおる
1944年一関市生まれ。県職員、市職員、団体職員を経て93年から09年までの15年間、市農業委員として在職。この間、99年から6年間は会長を務める。JA岩手南総代や本寺ブルーベリー生産組合副組合長を歴任。04年に発足した本寺地区地域づくり協議会の初代事務局長に就任。10年からは会長として、本寺地域発展のために東奔西走している。妻、母と3人暮らし。厳美町字駒形在住、67歳



1,2,8 トウリトネスのメンバーによる迫力ある演技。次々と繰り出される演技は観客を魅了した／3 コミカルなパフォーマンスで笑いを誘う。見てる人を飽きさせない／4 グッズ販売には人だかりができた／5,6 ショー終了後は、ダンススイミング教室。トウリトネスのメンバーが優しく指導。子供たちも真剣に取り組んだ／7 当日は、市内外から250人もの親子連れらがプールサイドに集まった



《藤沢・B&G海洋センターでウオーターボーイズショー》

東日本大震災で被災し、休止していた同センターの再開に合わせ企画された今回の交流会。テレビや映画でおなじみの「ウオーターボーイズ」を指導した不破央さんが率いる水中パフォーマンス集団「トウリトネス」のメンバーによるウオーターボーイズショーが上演された。同日は市内外から約250人の親子連れらが訪れた。大歓声を背に登場したメンバー9人は、水中で息の合った動きを披露。音楽に合わせてアクロバチックな技を次々と繰り出す。スピーディーでダイナミックな動きは激しい水しぶきを上げ、観客を圧倒。途中、織り交ぜられたコミカルなダンスやパフォーマンスが笑いを誘った。

た。緩急自在で完成度の高いトウリトネスのショーに参加者は釘付けになった。シンクロパフォーマンス後はダンススイミング体験教室が開かれ、20人以上の小学生が参加。シンクロの要素を取り入れながら自由な演技を創作していく水泳プログラムを学んだ。教室の最後にはまとめとして、参加者による演技発表も行われた。トウリトネスメンバーの中根臨太郎さんは、見に来てくれた皆さんは、とても元気がよく、盛り上がりました。このショーをきっかけに水泳を始め、水に慣れて楽しんでもらえればうれしいです。機会があれば、また皆さんの前で演技を見せたいとさわやかな笑顔を見せた。

藤沢B&G海洋センター
藤沢町健康スポーツ公園ニコニコパークの中核施設。トレーニングルームやレストランも完備されていて、子供からお年寄りまで、家族で楽しめる。
Tel 0191-63-5551
Fax 0191-63-5553



Nagao Ryo

長尾遼くん
ながお・りょう 菖菫小4年
はじめてショーをみたけどおもしろかった。お兄ちゃんたちが飛んだりしてかっこよかった。シンクロの体験ができてよかった。もっと上手になりたいです。



Chiba Seren

千葉世蓮くん
ちば・せれん 千歳小1年
水から飛び出たりして迫力があった。今まで東山のプールにいったけど、今度から藤沢に通えるから、いっぱい泳いで泳ぎが上手になりたいです。

震災休止から待望の再開 藤沢海洋センターで交流会

「藤沢海洋性レクリエーション交流会」は10月23日、藤沢町の藤沢B&G海洋センターで開かれた。交流会はB&G財団活動助成事業の一環。男子シンクロパフォーマンスとダンススイミング体験教室などが行われ、市内外から参加した親子連れらが交流を深めた。



上:身近な選挙に有権者の関心も高く、投票率は75パーセント台後半に
右:三浦選挙管理委員会委員長から当選証書を受ける沼倉憲二議員



市議会議員増員選挙 藤沢地域から3人が選出

9月26日の藤沢町との合併に伴う市議会議員増員選挙は11月13日、藤沢地域の14カ所の投票所で行われ、即日開票の結果、3人が当選しました。当選した市議会議員の任期は、25年10月8日までとなります。

今回の選挙は、合併協定項目に基づき実施された藤沢地域を選挙区とする3人の増員選挙で、合併特例法の定数特例(注)を適用しています。11月6日に告示され、4氏が立候補。投票は、11月13日午前7時から午後6時まで、藤沢地域内14カ所の投票所で行われ投票率は75・97%となりました。午後7時20分から藤沢小学校体育館で行われた開票の結果、沼倉憲二さん、橋本周一さん、須藤節男さんの3氏が当選。14日、市役所本庁で当選証書が付与されました。当選した沼倉さんは「行政経験を生かし、新市と藤沢地域の発展のため取り組みたい」、橋本さんは「一関市政と藤沢地域の発展のため、議員活動を送っていきたい」、須藤さんは「地域課題の解決と広域行政圏の各分野にわたる発展に努めたい」とそれぞれ抱負を語りました。当選した3氏の任期は、現在の市議会議員の残任期間の25年10月8日までとなります。

■投票結果

	男	女	計
当日有権者数	3,764	3,964	7,710
投票者数	2,865	2,992	5,857
投票率(%)	76.12	75.82	75.97

■開票結果

	氏名	得票数
当選	沼倉憲二	2,175
当選	橋本周一	1,367
当選	須藤節男	1,222
	村上仁志	1,044

当選した3人の議員

※敬称略、掲載は得票順
※氏名、職業、党派、住所、年齢



須藤節男 ずとう せつお
農業・無所属
藤沢町黄海・61歳



橋本周一 はしもと しゅういち
農業・無所属
藤沢町藤沢・65歳



沼倉憲二 ぬまくら けんじ
農業・無所属
藤沢町大籠・61歳

注) 市町村合併で編入合併の場合、編入する市町村と編入される市町村の人口比に応じて定数を増員する制度。一関市では、現在の市議会議員の任期に限り、藤沢地域から3人を増員します。

転倒防止・認知症予防 介護予防で いつまでも自立した生活を



一関市は、65歳以上の人を対象に、いつまでも健康で自立した生活が継続してできるように市内各地域で介護予防事業を行っています。

最近「転びやすくなった」、「物忘れが激しくなった」、「いろいろなことがおっくうになってきた」など思い当たることはありませんか。年のせいせず、早めに対処することが重要です。

介護予防事業は、筋力低下による転倒防止や認知症予防のための体操、保健師による相談など、地域ごとにメニューもさまざま。健康なうちから介護予防事業に参加してみませんか。



1_11月16日に行われた巖美3区の介護予防教室。みんなで歌う「同窓会音頭」/2_玄米ニギニギ体操で握力・腕力の強化/3_転倒予防体操/4_ハンドマッサージ。笑顔で体操の準備/5_脳を活性化させるグーパー運動



◎問い合わせ先

本庁社会福祉課 ☎ 21-8370
花泉支所保健福祉課 ☎ 82-2215
大東支所保健福祉課 ☎ 72-4077
千厩支所保健福祉課 ☎ 53-3955
東山支所保健福祉課 ☎ 47-4530
室根支所保健福祉課 ☎ 64-3805
川崎支所保健福祉課 ☎ 43-2115
藤沢支所保健福祉課 ☎ 63-5304



千葉ナミ子さん 藤沢町藤沢

11月10日、100歳の誕生日を迎えました。藤沢町黄海出身で昭和5年に19歳で忠さんと結婚。子1人、孫1人、ひ孫2人がいます。

同日、入所する藤沢町内の福祉施設で誕生祝が行われ、たくさん入所者から祝福を受けました。若い頃は三峰山に登って山菜採りをするのが恒例だったナミ子さん。踊りが好きで地区の行事でよく踊っていたそう。今でも手拍子しながら童謡を歌います。

踊りが好き
調子のいい日は歌って過ごす



小野寺フユミさん 大東町猿沢

11月4日、自宅で100歳の誕生日を迎えました。同日、千田良一大東支所長が記念品を贈呈。週2回通っているデイサービスの施設職員や近所の友達も集まり、百寿を祝福しました。

テレビで時代劇を見ること多いフユミさん。「水戸黄門」が大好きです。読書も好きで、本や新聞を読みます。「食べ物は大変。一番気を付けてきた」と力強く話していました。

好き嫌いせず食べることが大切
笑顔で迎えた百寿



畠山志津可さん 藤沢町保呂羽

10月20日、自宅で100歳の誕生日を迎えました。志津可さんは室根町矢越出身。昭和6年に19歳で豊司さんと結婚。子7人、孫12人、ひ孫14人、やしやご3人に恵まれました。

同日、畠山博藤沢地域自治区長らが自宅を訪れ、記念品の贈呈が行われました。志津可さんは「みなさんのお助けのおかげ」と集まった大勢の親類を前に感謝。甘いものとお酒が好きな志津可さん。おしゃべりも楽しみの一つです。

優しくおっとり
みんなでおしゃべりするのが好き

重ねた年月 刻んだ年輪

百年目の寿

10月末から11月にかけて100歳を迎えた6人
いつまでも元気でいてほしいから—
市は介護予防で高齢者をサポートしています



村上仁志さん 千厩町千厩

11月11日、入所する気仙沼市本吉町の介護老人福祉施設で100歳の誕生日を迎えました。仁志さんは千厩町の助役、教育委員会委員長など多くの役職を歴任。平成14年には明るい選挙推進協議会の功績で藍綬褒章を受賞しました。

温厚な性格で誰とでもあいさつを交わす仁志さん。今は、リハビリで体を動かしたり、入所者との会話を楽しんだりしながら過ごしています。

温厚で優しい
今をのんびり過ごす



菅原ナツさん 大東町大原

11月5日、100歳の誕生日を迎えました。ナツさんは昭和6年、20歳で東三郎さんと結婚。子供4人、孫9人、ひ孫10人、やしやご1人がいます。

同日、大東町内の料亭で記念品贈呈が行われました。千田大東支所長から手渡された花束を大事そうに受け取り、かわいらしくほほ笑んだナツさん。耳が遠いものの目は達者。テレビを見たり、新聞を読んだりします。天気の良い日にはつえをついて家の庭を散歩しています。

天気の良い日は庭を散歩
ぜいたくせず何でも食べる



及川キミさん 大東町沖田

10月30日、100歳の誕生日を迎えました。キミさんは大東町大原の出身。昭和11年に25歳で源治さんと結婚し、子供3人、孫4人、ひ孫7人がいます。

現在は、市内中里の福祉施設に入所。週2回のデイサービスを楽しみにしています。おだやかでおっとりとした性格。歯が丈夫で、硬いものでも何でも食べます。だいたいのは自分でこなすというキミさん。背筋をまっすぐ伸ばしてシャンシャンと歩きます。

デイサービスが楽しみ
自慢の丈夫な歯がキラリ



1 消火体験など通して防火を誓う 一関で「幼年消防大会」、15クラブが交流

「第3回幼年消防大会」は11月2日、一関文化センターを会場に行われ、市内の幼年消防クラブ員など約500人が参加しました。大会では▶消防車両の展示▶煙体験▶はしご車体験▶人形劇団ボッケ座による人形劇一などが行われました。このうち、水消火器を使った消火体験では、消防署員の指導を受けたクラブ員が真剣なまなざしで放水しました。最後に全員で「防火の誓い」を合唱。「絶対に火遊びしません」と誓いました。



5 出品者もお客も「どんと来い」 東山・松川で「どんこ市」

松川まちおこしMAXマーケット実行委員会主催の「どんこ市」は11月3日、松川町郵便局前で開かれました。どんこ市は地域の活性化を狙いに、藩政時代の市を再現したものです。6回目の今年は、開店前から来場者が殺到し、1時間繰り上げてスタートしました。市は出足から好調で、午前中に売り切れる店も出るほどの盛況でした。松川和夫実行委員長は「地元の活気を取り戻したい。これからも続けたい」と意欲を見せていました。

2 お目当ての品を探す人で賑わう 花泉で「秋の互市」、駅前ホコ天に出店

「秋の互市」(花泉中央商店街協同組合主催)は11月1日から3日間、JR花泉駅前中央通りで催されました。歩行者天国となった通りには▶季節の花や苗木▶新鮮な野菜や海産物▶技巧を凝らした竹細工や刃物▶子供に人気の駄菓子一など約100露店が出店。行き交う人たちは足を止めて、所狭しと並んだ品物を手に品定めしていました。期間中は天候に恵まれ、最終日は祝日ということもあって市内外から訪れた多くの親子連れらでにぎわいました。



6 芸術と食の祭典でにぎわう 室根で「産業文化祭」、多彩なイベントが目白押し

「第7回一関市むろね産業文化祭」は11月5、6の両日、市役所室根支所北側特設会場で催されました。折壁保育園児鼓笛隊の演奏で開会した文化祭は、小中学校作品展、芸術文化展、農産物品評会など多彩な展示が行われたほか、鮭のつかみ取り、交通安全フェスタ、芸能発表会などイベントが目白押し。同日は「B級ご当地グルメ IN 一関市室根」も開かれ、訪れた来場者は秋の一日を心ゆくまで楽しんでいました。



3 出来秋に感謝、自慢の料理250食 大東・京津畑で「食の文化祭」、900人で賑わう

大東地域の京津畑自治会が主催する「第12回京津畑まつり 食の文化祭」は11月13日、京津畑体育館で開かれ、市内外から訪れたおよそ900人が食文化を通じて交流しました。郷土料理や家庭料理など約250食が並んだ会場では、▶果報団子やそばきりの振る舞い▶鹿踊など郷土芸能の発表▶産直や屋台での販売一などが行われました。試食会では、ひっきりなしに箸を伸ばす姿も。菊池建会長は「山里の食の作品が皆さんの心に届けばうれしい」と話していました。



7 秋の味覚をどーんと堪能 道の駅かわさきで「秋の大収穫祭」

「道の駅かわさき」で11月5、6の両日、「秋の大収穫祭」が行われました。敷地内にはテントが張られ、川崎町特産の「つるくびいものこ」を使ったコロッケや被災地応援セールとして海産物などが販売されました。初日、会場には食欲をそそる匂いが広がり、多くの人が足を止めました。中でも川崎生活改善グループが出店した芋のこやはとがたっぷり入った豚汁は大好評。談笑しながら秋の味覚を楽しむ姿が見られました。

4 地元の観光資源を回ってみよう 千厩で観光資源研修会、村上家住宅など訪問

千厩町観光協会と蔵サポーターの会主催の「観光資源研修会」は10月25、27の両日行われ、市内外から参加した40人が地域の観光資源に理解を深めました。研修は観光の情報発信力向上が目的。千厩地域の観光名所8カ所を巡りました。このうち、県登録有形文化財の村上家住宅ではいろいろを囲んで学習。陸前高田市の河野紀子さんは「前から来たかった。雰囲気懐かしくて温かい」と千厩の魅力を感じていました。



8 軽快な演奏演技で会場を沸かす 藤沢で「マーチング&コンサート」

「2011ふじさわマーチング&コンサート」は10月30日、藤沢町の縄文ホールで開かれました。コンサートは出演団体の父母や音楽関係者の手作り。5回目の今年は、ふじっこエンジェル(藤沢町内の園児)、藤沢小学校マーチングバンド、藤沢中学校吹奏楽部、千厩高等学校吹奏楽部の4団体139人が出演しました。フロアでは息のあった演奏と軽快なフォーメーションが繰り広げられ、詰めかけた音楽ファンから盛んな拍手が送られていました。



Hurray huray Club! ふれーふれークラブ



猿沢中学校ソフトテニス部

私たち猿沢中学校ソフトテニス部は、2年生2人、1年生6人で活動しています。9月の新人戦では、団体戦、個人戦とも、善戦しましたが、惜しくも上位には進出することができませんでした。

新人戦の反省から、私たちはチームの課題を「最後まで粘り、声を出して、元気よくプレーする」とし、普段の部活動のほかに、自主的に朝練習をしたり、父母会の協力を得て、夜間練習の時間を増やしたりして活動しています。

ランニングでの基礎体力、プレーの技術向上でレベルアップをし、中総体では活躍したいです。

文・キャプテンの小野寺美紀さん(2年)



「唐梅宵まつり」の開催に向け、打ち合わせするメンバー

菊地さん。「東山には誇れる歴史と文化がある。地域の良さを生かしながら、手間と時間をかけて作り上げていくことで将来につなげていければ、今はたくさんの方の力を体験、吸収することが大事。今後も唐梅館絵巻をはじめとしていろいろなイベントに関わっていきたい」と夢をふくらませます。

「お祭りって何だろう」「見に来た人に喜んでもらえる自分もうれしい」「自分たちの手で育てていく祭りにした」「など、たくさんの方の意見が出され、昨年中の会議は打ち合わせ、リハーサルや反省会

今からおよそ400年前の天明18(1590)年。当地方をおさめていた奥州葛西氏の家臣団が唐梅館(長坂城)に集結し、豊臣秀吉による小田原参陣要請に従うか否かの軍議を行ったと伝えられています。戦国武将たちの熱い生き方を現代によりがえらせ、先人の心意気を感じることで地域の発展を願って開催されてきた「唐梅館絵巻」。今年で第11回目を数え、東山地域はもとより、一関市を代表する祭りとして定着しています。勇壮に、そして華やかに繰り広げられる歴史絵巻。この祭りをさらに盛り上げようと、軍議終了後に開かれた「唐梅宵祭り」の企画・運営を行ったのが「祭りプロジェクト」

(菊地哲也代表)です。昨年5月、唐梅館絵巻実行委員会は「地域に根付いた祭りにするにはどうしたらよいか」を検討するため、地域の若者を中心とした「祭りを考えるプロジェクト」を発足しました。当初は10人のメンバーでスタート。まずは、唐梅館絵巻に対してどのようなイメージを持っているか、どのようにしたらもっと楽しんでもらえるか意見を出し合いました。「お祭りって何だろう」「見に来た人に喜んでもらえる自分もうれしい」「自分たちの手で育てていく祭りにした」

まちかど Closeup

地域のみんなが誇れる祭りへ 自分たちができる最大限のことを

祭りプロジェクト

を含めると12回。回を重ねていくことにいろいろなアイデアが出され、また、メンバーの呼びかけなどから、プロジェクトへの参加者も増えていきました。今年はこの「祭りを考えるプロジェクト」を母体とした「祭りプロジェクト」を結成。唐梅宵祭りの全てを運営することになりました。

「お祭りって何だろう」「見に来た人に喜んでもらえる自分もうれしい」「自分たちの手で育てていく祭りにした」など、たくさんの方の意見が出され、昨年中の会議は打ち合わせ、リハーサルや反省会

My favorite Pets ウチの自慢!



震災の次の日に生まれた10人兄妹の一匹です。我が家のアイドルです。

千葉美知恵さん方(花泉)

かわいいペット大募集!

①写真(デジカメ画像可)②名前③種類とメスオス④応募者の住所・氏名・電話番号⑤40字程度のコメントを明記して市役所市政情報課(メールアドレス shiseijyoho@city.ichinoseki.iwate.jp)まで。

市内の会社に勤務して4年、地元が好きで、地元で就職を希望したという春菜さんは、総務課で人事・給与などを担当しています。また、職場の野球チームにもマネージャーとして所属しています。

夢はマイホームを建てること。家族も増やしたいと、優しく、おっとりとした笑顔を見せました。

マイペースなママ 夢はマイホーム

及川 春菜さん(千厩)



笑顔でGOOD!

菅原康生ちゃん(一関)
21年12月6日生まれ
パパ芳仁さん/ママ華奈子さん
「野菜大好き!なんでも食べてげんきにおおきなあ〜れ♪」



千田飛亜ちゃん(右)
18年7月28日生まれ
千田亜也ちゃん(一関)
20年7月8日生まれ
パパ飛也さん/ママ亜紀菜さん
「いつもママのお手伝いをしてくれるね。生まれてきてくれてありがとう。これからもよろしくね」

藤平野愛ちゃん(上)
20年6月10日生まれ
藤平彩愛ちゃん(大東)
22年7月14日生まれ
パパ武彦さん/ママ祥子さん
「『アモちゃんじしんこわくないよ。お姉ちゃんがまもってあげる』やさしい気持ち忘れられないでね」



Kid's Photo Studio

キッズ 写真館

小学校入学前の
子供たちを募集!

①写真(2カ月以内に撮影したもの・デジカメ画像も可)②氏名(ふりがな)③生年月日④住所⑤電話番号⑥父母氏名⑦30字程度でお子さんへのメッセージを明記して市役所市政情報課 〒021-8501(住所不要) または shiseijyoho@city.ichinoseki.iwate.jp まで(毎月先着3組)。

一関文化センター催し物案内

お問い合わせ先… ☎2121 ホームページ http://ichi-bun.com

新日本フィルハーモニーオーケストラ「スプリングコンサート」



待望の新日本フィル、一関公演決定！指揮者には、オーケストラ創立時に、同楽団の発展に寄与した「手塚幸紀」を迎えます。日本が世界に誇る新日本フィルハーモニー交響楽団のスプリングコンサートにご期待下さい。

◆日時… 24年3月25日⑩16:00開場、16:30開演
◆会場…一関文化センター大ホール
◆入場料…全席指定一般6000円、高校生以下3000円(当日各500円増し)
※12月8日⑩9:00～前売り券発売開始予定(電話予約は9:30～)

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。次回1月1日号の締め切りは12月7日⑩です。詳しくは、本庁市政情報課広報係 ☎8182へ。

被災地復興支援救援物資募集

花泉高校生徒会では、被災地の皆さんへの救援物資を募集します。
◆募集期間…12月1日⑩～15日⑩
◆搬入方法…【直接持ち込み】⑩⑩を除く9:00～16:00【郵送】費用は自己負担をお願いします。
◆募集対象…使い捨てカイロ、靴下(新品・サイズ不問)、トイレットパー、児童書
◎連絡先・問い合わせ先…同校生徒会(担当山口) ☎3363FAX②5448

化学工学一関セミナー「放射線と放射能」

◆日時…12月9日⑩14:10～17:00
◆会場…一関高専第一講義室
◆内容…講演①「放射線と放射能—原発事故による放射能汚染にどう向き合うか」②「放射線被曝との戦い—放射化学分析法などによる放射線腐食の分析」※参加無料
◎申込先・問い合わせ先…一関高専物質化学工学科(二階堂) ☎4777

一関文化祭

1一関交響吹奏楽団演奏会
◆日時…12月10日⑩18:00～
◆会場…一関文化センター大ホール
◆入場料…大人500円、子供200円

2展示部門 書道

◆日時…12月14日⑩～16日⑩9:00～17:00(16日は16:00まで)
◆会場…同センター小ホール・展示室
◆入場料…無料
3一関民謡と民舞踊の集い
◆日時…12月18日⑩9:50～
◆会場…同センター大ホール
◆入場料…前売り1000円(当日1300円)
◎問い合わせ先…同実行委員会事務局 ☎2121FAX②5436

北上川文化フォーラム

◆日時…12月11日⑩14:00～17:05
◆会場…ベリーノホテル一関
◆内容…元国際連合事務次長明石康さんの講演「世界情勢と平和への願い」、パネルディスカッション(参加無料)
◎問い合わせ先…一関・平泉地域エジプト・ルクソール友好協会事務局(佐藤) ☎090(2021)1006

放射能と心のケアのためのオйлリユトミーワークショップ

◆日時…12月23日⑩⑩10:30～15:10
◆会場…川崎生涯学習ステーション
◆内容…【10:30～12:00】オйлリユトミー【13:30～15:00】マッサージ※大人向け講座です。
◆参加費…500円
◆講師…石川公子さんほか

◎申込先・問い合わせ先…こども教室「風と虹」(金田) ☎080(1827)2514

2012年元旦・マラソン&ウォーク

◆日時…平成24年1月1日⑩8:30受け付け 9時30分スタート
◆コース…一関文化センター～平泉毛越寺(約9km)
◆参加料…【ウォーク】300円【マラソン】1000円
◎問い合わせ先…楽走会事務局(浅沼) ☎3250

喜多流「一関信謡会」新春小謡講習会

◆日時…24年1月17日⑩・18日⑩・19日⑩・21日⑩ 19:00～21:00
◆会場…真柴コミュニティセンター
◆講師…喜多流謡教士 高橋英さん
◆参加料…3000円(資料代含む)
◎申込先・問い合わせ先…同会事務局(小山) ☎FAX②54017

「ヒカルの碁」受講生募集

◆日時…毎週⑩13:00～15:00
◆会場…日本棋院一関支部
◆対象…幼児から一般
◆受講料…1000円/月(テキスト代含む)
◆講師…日本棋院一関支部会員
◎申込先・問い合わせ先…同支部 ☎0030

図書館だより

一関図書館 ☎2147 花泉図書館 ☎4939 大東図書館 ☎3541 千厩図書館 ☎1122 東山図書館 ☎2243 室根図書館 ☎3820 川崎図書館 ☎4123 藤沢図書館 ☎4123
ホームページ http://www.library.city.ichinoseki.iwate.jp/top.html (休館日の情報などもこちら)

Book Review

「はげましてはげまされて93歳正造じいちゃん56年間のまんが絵日記」竹浪正造 著
子供の成長、巣立ち、かあさんの入院、そしてお別れ…忘れていた日本の家族の姿がそこにあった。家族の様々な出来事を描き続けたまんが絵日記です。

「岩手グルメガイド」食材の宝庫・岩手には知る人ぞ知るご当地グルメが多く、地元の人たちだけでなく今では観光客にも大人気。この本であなたのお気に入りのご当地グルメを探してはいかが？

「とびだす!うごく! すいぞくかん」 わらべきみか 絵
携行にぴったりな手のひらサイズのしかけ絵本。ペンギン、アシカ、ジンベエザメ、ラッコや熱帯魚たちが飛び出し、動く、驚きのしかけが満載です。

「はなかつぱすてきなクリスマス」 あきやまだし 著
クリスマスイブの日、みんなでサンタクロースがやってくるのを広場で待つことに。あたりは暗くなり、寒さにふるえながらサンタに会えるようお願いしていると…

オススメイベント

企画展「アストリッド・リングレーンのことば」展
◇期間…12月20日⑩まで
◇会場…大東図書館
◇内容…没後10年を迎えるスウェーデン社会に大きな影響を与えた児童文学作家の作品を展示、貸し出しします。

クリスマスお楽しみ会
◇日時…12月3日⑩10:30～
◇会場…一関図書館2階会議室
◇内容…【10:30～】クリスマスツリーの飾り付け【11:00～】「ラビット」の皆さんによる人形劇
※事前申し込みは不要です。

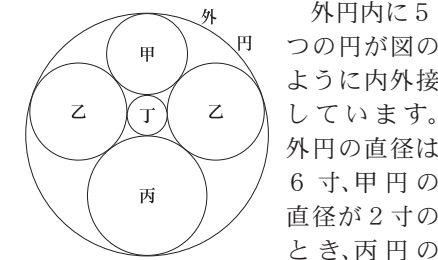
博物館だより

◎問い合わせ先…〒021-0101 一関市蔵美町字沖野々215 一関市博物館 ☎3180
ホームページ http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

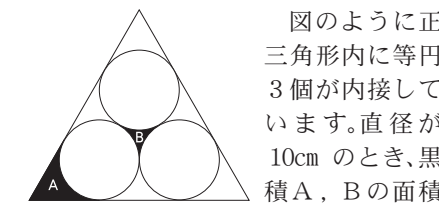
第10回 和算に挑戦 解答募集

江戸時代の数学(和算)の問題を現代風にしました。和算家の知恵に挑戦してみませんか。応募者全員に解答集を進呈します。また、優れた解答を表彰します。
1初級問題(小・中学生向き)
3人兄弟がいます。三男の年齢は長男の4分の3、次男の年齢は長男の6分の5です。また、次男は三男より8歳年上です。3人の年齢を求めなさい。

をそれぞれ求めなさい。
2上級問題(高校生以上)
外円内に5つの円が図のように内外接しています。外円の直径は6寸、甲円の直径が2寸のとき、丙円の直径を求めなさい。



図のように正三角形内に等円3個が内接しています。直径が10cmのとき、黒積A、Bの面積を求めなさい。



解答集の送料として80円切手を1枚同封して、下記まで郵送して下さい。コースの選択は自由で、複数でも可です。応募用紙は、返却できません。
◆締め切り…24年1月20日⑩消印有効
◆表彰式…24年2月26日13時30分～
※詳細は、当館のホームページにも掲載しています。また、解答用紙もダウンロードできます。
※正解の発表は2月26日からホームページで行い、解答集の発送は3月下旬の予定です。
◎解答の宛先…〒021-0101 一関市蔵美町字沖野々215 一関市博物館「和算に挑戦」係
※12月6日⑩～15日⑩は、資料整理のため休館します。

Advertisement for Ichi-nichi newspaper subscription. Features: 身近な生活情報がいっぱい!!読みやすい新聞。それが岩手日日です。購読料(1カ月) 2,243円(税込)。お求めやすい料金も魅力!! 自動振替をご利用下さい。お申し込みは「いわにちびんぐ」(毎週生曜日発行)の申し込み欄(4ヶ月コース)(年3回)をご利用下さい。岩手日日販売株式会社 ☎0120-22-4317

Advertisement for Oikawa Housing. Features: 「満足の家」夢をカタチに約束します。これからも「住まいの工房」として、快適生活へのお手伝いを致します。スーパーウォール工法。ハウス・オブ・ザ・イヤー イン・エレクトリック 2007 優秀賞を受賞しました。有限会社 オイカワハウジング。TEL 0191-74-3292 FAX 0191-74-3247 http://www.ii-ie.net/oikawa/ e-mail:oikawa-housing@if-n.ne.jp 〒029-0603 岩手県一関市大東町沖田字霞沢39-1

募集

一関藤沢市民劇場キャスト

藤沢文化センターでは、今回で13回目を迎える一関藤沢市民劇場のキャストを募集しています。
◇公演日: 24年2月26日(日)
◇資格: 演劇を、関藤沢市民劇場を愛する人(年齢・性別不問)
◇練習: [日時]毎週(土)19時~21時 [会場]藤沢公民館
◎申込先・問い合わせ先: 同事務局(藤沢公民館内) ☎5515

希望郷いわてモニター

県では、県政に関するアンケートに回答するモニターを募集しています。
◇任期: 24年4月~2年間の資格・定員: 県内在住で、24年4月1日現在20歳以上の人。20人
◇申し込み: はがき、ファクス、電子メールに必要事項を記入して。
◇応募期限: 24年3月9日(※当日消印有効)
◎申込先・問い合わせ先: 県庁広聴広報課 ☎019(629)5281 FAX 019(651)4865 電子メール Koucho@pref.iwate.jp

催し・講座

いまよみがえる賢治のイギリス海岸宮澤清六写真集
◇期間: 12月25日(日)まで 9時

勤労青少年ホーム事業

①短期教室「手作りクリスマスケーキ教室」
◇日時: 12月22日(土)19時~21時
◇会場: 同ホーム◇対象・定員: 原則として市内に居住または勤務する勤労青少年(36歳以下)または求職中の人(※定員に満たない場合はどなたでも)
◇講師: 山田和代さん◇参加費: 材料代500円程度◇受付期限: 12月20日(火)
②施設開放事業「冬休み工作教室」
◇日時: 12月27日(火)13時~15時
◇対象・定員: 小学1~6年。先着20人※親子可。和だこに描くイラストを考えてきてください。
◇参加費: 無料
◎申込先・問い合わせ先: 同ホーム

16時30分(日を除く)◇会場: 北上川学習交流館(あいぼーと)
◇入場料: 無料
◎問い合わせ先: 北上川学習交流館 ☎0077

がんの緩和ケア医師研修会市民公開講座

医師研修会の一部を公開講座として市民の皆さんも聴講できます。
◇日時: 12月3日(土)13時40分~17時35分・4日(日)8時30分~10時20分◇会場: 県立磐井・南光病院多目的会議室
◎問い合わせ先: 県立磐井病院総務課 ☎3452

今年最後の日曜朝市

◇日時: 12月4日(日)5時30分~6時30分◇会場: 一関文化センター西側広場※来場者先着50人にリンゴプレゼント。
◎問い合わせ先: 農業委員会事務局 ☎8692

市保健推進委員活動交流研修会

◇日時: 12月8日(土)13時30分~15時30分◇会場: 市役所本庁2階大会議室◇定員: 100人◇内容: ▼活動発表▼講演「ここからだをいたわろう」みんなでできる災害後のケア」
◎申込先・問い合わせ先: 本庁健康づくり課 ☎2160

学びの里骨寺村荘園遺跡第4回「本寺の伝説と昔話めぐり」

◇日時: 12月10日(土)9時~15時

10分◇集合場所: 市役所本庁または一ノ関駅西口◇定員: 先着20人※最少催行人数10人◇参加料: 1000円(昼食代、餅料理)
◎申込先・問い合わせ先: 本庁骨寺荘園室

歳末助け合いチャリティ・勤労青少年フェスティバル

◇日時: 12月10日(土)17時30分~◇会場: 同ホーム◇内容: [発表部門]バンド演奏・合唱(英語・中国語・韓国語)・太極拳・エアロビクス [展示部門]書道・和裁・陶芸・生け花フラワーアレンジメント・会員の活動写真展(飲食コーナー)・P1フシチュー無料提供(先着順)・茶席先着50席・喫茶店・豪華景品が当たる抽選会(歳末助け合い)募金チャリティバザー
◎問い合わせ先: 同ホーム ☎2144(平日13時~21時、土・日・祝日17時~21時)

山目公民館事業

①そば打ち体験
◇日時: 12月11日(日)10時~13時
◇定員: 先着15人◇参加料: 実費◇受け付け: 12月6日(火)8時30分~※電話で
②お茶(煎茶)を楽しむ会
◇日時: 12月17日(土)10時~12時
◇対象・定員: 小学生とその保護者・先着30人◇参加料: 一人1000円◇受け付け: 12月6日(火)~14日(※電話で)
【共通事項】
◇会場: 山目公民館
◎申込先・問い合わせ先: 山目公民館 ☎2104

赤十字救急法講習会

◇日時: [救急法基礎講習会]12月16日(金)13時~17時 [救急員養成講習会]17日(土)18日(日)9時~17時30分※18日は17時まで◇会場: 一関市総合体育館◇経費: いずれも教材費15000円◇受付期限: 12月14日(火)12時
◎問い合わせ先: 日本赤十字社岩手県支部事業推進課 ☎019(623)7218または本庁児童福祉課福祉総務係

女性センター特別講座

①和風おせち料理
◇日時: 12月20日(火)「昼の部」10時~12時「夜の部」18時30分~20時30分◇定員: 先着各20人◇講師: 山田和代さん◇参加費: 1000円(材料代)
②ミニ門松作り講座
◇日時: 12月26日(日)13時30分~15時30分◇定員: 先着10人◇講師: 女性センター職員◇参加費: 500円(材料代)
③お正月用生け花
◇日時: 12月28日(火)10時~12時
◇定員: 先着20人◇講師: 間室聰子さん◇参加費: 3000円(材料代)
【共通事項】
◇会場: 同センター(城内)◇対象: 市内に居住または勤務する女性◇受け付け: 12月5日(日)12時30分~
◎問い合わせ先: 同センター ☎2145

ム ☎2144(平日13時~21時、土・日・祝日除外)

ミニ門松作り体験教室&もちつき体験

◇日時: 12月24日(土)10時~14時
◇会場: いちのせき健康の森セミナーハウス◇定員: 10家族◇参加費: 一人2000円※材料代別途1基につき1000円◇受付期限: 12月1日(土)~20日(火)
◎申込先・問い合わせ先: いちのせき健康の森 ☎2020

相談

①無料法律相談(予約制)
◇日時: 担当弁護士: 12月1日

法律相談・行政相談

日・熊本賢吾さん▼8日・千田功平さん▼15日・小原恒之さん▼22日・山崎正敏さん(すべて10時~15時)◇予約受け付け: 11月25日(金)◇会場: 本庁2階第4委員会室◇対象・定員: 市内に居住する人・先着各8人
②行政相談
◇日時・会場: ▼12月1日(土)10時~15時・室根支所11会議室▼2日(日)13時30分~16時・千厩農村労働福祉センター▼5日(火)9時30分~11時30分・藤沢町社会福祉協議会▼6日(水)13時30分~16時30分・大東潤い活力プラザ▼8日(金)13時~16時・東山地域交流センター▼14日(土)13時30分~16時・川崎農村環境改善センター▼15日(日)9時~12時・本庁面接室▼19日(土)9時30分~11時30分・新沼コミュニティセンター▼20日(日)9時~12時・花

心配ごと相談所

◇通常相談: [日時]12月1日・8日・15日・22日すべて(土)10時~15時(会場)一関市総合福祉センター◇移動相談(要予約): [日時]12月9日(金)10時~15時(会場)花泉総合福祉センター、大東保健センター、千厩農村労働福祉センター◇相談員: 一関市社会福祉協議会心配ごと相談員
◎問い合わせ先: 一関市社会福祉協議会 ☎6020、同花泉支所 ☎4002、同大東支所 ☎1177、同千厩支所 ☎2885

新年賀詞交歓会

◇日時: 24年1月4日(土)15:30~17:00
◇会場: ベリーノホテル一関
◇会費・申込先: 3000円・本庁秘書室または各支所地域振興課※一ノ関駅、各支所から運行するバスを利用してください。
◎問い合わせ先: 本庁秘書室

第2回求職者パソコン研修

◇日時: 24年1月11日(土)~2月3日(土)(日を除く)9:00~16:00
◇会場: 一関職業訓練センター(舞川)
◇対象・定員: 職業安定所に求職者登録している人で市内に居住し、パソコン未経験または初心者・先着15人
◇申し込み: 12月1日(土)~27日(火)までに一関職業訓練協会窓口で申込書に必要事項を記入して(土・日を除く8:30~17:00)。※電話予約不可
◎申込先・問い合わせ先: 職業訓練法人一関職業訓練協会 ☎7030

市民ソフトバレーボールフェスティバル

◇日時: 24年1月22日(日)受け付け9:00~9:30
◇会場: 山目小学校ほか
◇資格・参加料: 市民または市内に勤務・通学している人で編成したチーム・無料
◇申し込み: 申込書に必要事項を記入し、24年1月15日(日)までに申し込む(ファクス可)。
◎申込先・問い合わせ先: 一関市総合体育館 ☎3111 FAX 2108

信用生協の消費者問題・法律相談会

◇日時・会場: 12月8日(土)千厩支所
◇内容: 多重債務などの消費者問題、離婚・契約・相続などの法律全般、消費者救済・生活再生資金貸付制度相談※要予約。予約は前日の17時まで。
◎予約先・問い合わせ先: 市消費生活センター千厩相談室 ☎3957

解体のことならお任せください。一般住宅・車庫・物置・倉庫から工場まで。廃棄物のリサイクル・中間処理も自社で行っております。見積無料。4tダンプ1台あたり(運搬込み)一関地区 4,725円(税込)。環境にやさしいチップ化で、ボード原料・燃料化を促進しています。

広告に関するお問い合わせは 岩手日日新聞社営業局まで TEL0191-26-5111 一関市東台 14-37 毎月2回、市内全世帯に配布される「広報いちのせき」は、市民生活に欠かせない情報源として親しまれております。

御歳暮 全国送料サービス 実施中 期間: 2011年11月10日~2012年1月31日 1箇所に税込3,500円以上の商品をお買い上げの場合 1個口分の常温便は送料無料、冷凍便は210円に送料サービス

市民のこころの健康相談窓口

心の問題に一人で悩まないで気軽に相談してください。臨床心理士が無料で相談に応じます。
◇日時・会場：12月5日(日)10時〜14時30分・一関保健センター
◇日時・会場：12月13日(日)10時〜14時30分・大東保健センター
◇日時・会場：12月20日(日)10時〜14時30分・千厩支所保健福祉課
◇日時・会場：12月27日(日)10時〜14時30分・千厩支所保健福祉課

多重債務者弁護士無料相談(予約制)

◇日時・定員：12月13日(日)22日(日)10時〜15時※一人当たり40分・一日6人まで◇会場：1市役所本庁2千厩支所予約は前日の17時まで。
◎予約先・問い合わせ先：1市消費生活センター一関相談室(本庁生活環境課内)☎21602
2同千厩相談室(千厩支所内)☎3957

多重債務巡回無料相談会

◇日時・定員：12月13日(日)10時〜17時※一人当たり40〜90分間
◇会場：東北財務局盛岡財務事務所◇受付期限：12月6日(日)17時(除く9時〜17時)
◎予約先・問い合わせ先：東北財務局多重債務相談窓口☎02

家畜所有者の皆さんへ

家畜伝染病予防法が改正され、口蹄疫や鳥インフルエンザなどの発生を予防するため、家畜の飼養状況などについて毎年1回の報告が義務付けられました。
◇報告対象：牛・水牛・鹿・羊・ヤギ・豚・イノシシ・鶏・アヒル・ウズラ・キジ・ダチョウ・ほろほろ鳥・七面鳥・馬(一頭(羽)以上飼っている人)
◇報告内容：10月1日現在の家畜の種類、頭数、畜舎の数◇報告期限：12月15日(日)までに郵送または持参
◎問い合わせ先：県南家畜保健衛生所☎0197233531

第8回岩手「道の駅」い〜はと〜ぶスタンプラリー

県内30カ所の「道の駅」で、応募はがきにスタンプを集めて応募すると、抽選ですてきな県産品の商品が当たります。
◇開催期間...12月1日(日)〜4月8日(日)
◇商品...【20駅以上】いわって大賞(8000円相当)10人【10〜19駅】つめちゃったで賞(5000円相当)15人【5〜9駅】馬かったで賞(県内道の駅特産品)90人※30駅制覇の人には「完走証明書」を進呈。
◇その他...道の駅「高田松原」「みやこ」は、震災の影響で現在休業中です。
◎問い合わせ先...国土交通省岩手河川国道事務所☎019(624)3196、道の駅「厳美溪」☎2000または道の駅「かわさき」☎5170

女性相談事業

女性が直面するさまざまな悩みなどを解決する支援をします(匿名可。要予約)。
◇日時：12月21日(日)10時〜16時
◇会場：女性センター相談室
◎問い合わせ先：女性センター☎2145

多重債務整理・消費者救済資金融資相談(予約制)

◇日時：12月20日(日)27日(日)10時〜13時◇場所：1本庁会議室棟第5会議室2藤沢支所◇内容：多重債務などの消費者問題に関する相談、消費者救済、生活再生資金貸付制度の相談◇相談員：信用生協一関相談センター職員※予約は前日の17時まで。
◎予約先・問い合わせ先：1市消費生活センター一関相談室☎2111
2藤沢支所市民課☎2111

交通事故無料相談

交通事故に遭われた人の相談に専門の相談員が応じます。
◇相談日：相談員無料相談毎週(日)①、②、③(除く)9時〜17時【弁護士無料相談】12月14日(日)、28日(日)13時〜16時※相談日の前日までに予約必要◇場所：盛岡自動車保険請求相談センター(住友生命盛岡ビル10階)
◎予約先・問い合わせ先：同センター☎019(651)4495

林業退職金共済制度(林退共)から

林業の仕事をしてきたことはありませんか?林退共制度に加入していたが退職金をまだ受け取っていない人を探しています。以前、林業の仕事をしてきたが、林退共に加わっていたか分からない人についてもお調べします。
また、り災された共済契約者および被共済者の皆さんに、各種手続き(共済手帳の紛失や退職金の請求など)の必要が生じた場合はできる限りの範囲においてすみやかに対応したいと考えております。最寄りの支部または本部にお問い合わせ、ご相談ください。
◎問い合わせ先：独立行政法人勤労者退職金共済機構林業退職

お知らせ

市有地を売却します

市有地(宅地)を先着順で売却します。
◇物件：1所在地「萩荘字駒下1番17」面積宅地599.47平方メートル「売却価格」1460万円
2所在地「萩荘字駒下1番21」面積宅地434平方メートル「売却価格」140万円
3所在地「大東町大原字台3番10」面積宅地557.87平方メートル「売却価格」280万円
◇現地説明：買い受けを希望する場合は必ず現地物件を確認してください。現地説明は随時実施します。◇受け付け期間：12月1日(日)〜24年7月31日(日)
◎問い合わせ先：本庁財政課管理係

リサイクル再生品の抽選販売

リサイクルプラザでは、使用できる廃品を修理し、70点ほど販売します。
◇販売品目・価格：家具(タンス、学習机、テーブルなど)1万円以下、大人用自転車2000円、子ども用自転車1000円、その他(ビーカー、収納ボックス、おもちゃなど)1000円以下
◇展示期間：12月1日(日)〜20日(日)①を除く9時〜16時◇展示場所：同プラザ展示コーナー◇抽選日時：12月22日(日)10時30分〜◇申し込み：直接リサイクルプラザにおいてください(電話不可)。

市内の農業用廃プラスチックを回収します

一関地方農林業振興協議会では、農業用廃プラスチックの適正処理を進めるため、回収事業を行います。
◇日時：12月4日(日)9時〜15時
12月13日(日)9時〜15時◇場所：1JAいわて南中央営農経済センター、同花泉営農経済センター、同同南部園芸センター、同同室根営農センター、同同川崎営農センター(※川崎営農センターは12時まで)◇対象：塩化ビニール、ポリエチレン、サイレージ用ラップフィルム、その他プラスチック(回収後はリサイクルされます)
◎問い合わせ先：JAいわて南経済課☎23009、JAいわ

年末のし尿汲み取りはお早め

年末のし尿くみ取りは、余裕をもって早めに申し込んでください。
◎申込先：(一関地域)山目・萩荘地区は(有)青葉衛生☎24054、それ以外は(有)一関衛生事業協会☎24408(花泉地域)(有)花泉衛生社☎2358またはクリーセンセンター花泉(有)5393(大東・千厩・磐清水地区・川崎・藤沢地域)(有)東磐清掃事業協会☎2255(千厩・磐清水地区を除く)・(東山・室根地域)(有)東磐浄化センター☎2447

金共済事業本部☎03(540)4334 FAX03(3432)5868 ホームページhttp://www.fintaikeyo.taisyokukin.go.jp/

「岩手県学生会館」のご案内

「岩手県学生会館」(東京都豊島区要町)は、岩手県出身者のための学生寮です。
◇入寮資格：岩手県出身者(保護者の生活の本拠が岩手県で、寮から通学できる地域に所在する大学、大学院(修士課程)、短期大学、専修学校の専門課程に入学する学生◇入寮期間：入寮から2年間(延長規定あり)◇寮費：8万5000円/月(朝夕2回の食事、共益費、自治会費を含む)◇その他：見学を随時受け

付けています(①を除く②③)また、24年4月からの入寮生を募集します。
◎問い合わせ先：公益財団法人岩手県学生援護会(岩手県学生会館内)☎FAX03(3972)4783 ホームページhttp://www.k4.dion.ne.jp/~iwate-sp/index.html

盛岡地方方法務局(本局)庁舎移転

盛岡地方方法務局(本局、登記部門)は、12月26日(日)から盛岡第2合同庁舎(3階、4階)で業務を行います。
◇移転後の住所：盛岡市盛岡駅西通一丁目9-15
◎問い合わせ先：盛岡地方方法務局総務課☎019(624)1141

ハクビシン対策は冬期がポイントです

市内全域でハクビシンによる農作物や住宅被害が急増しています。ハクビシンは、冬眠せず、民家の屋根裏などに住みついて冬期間も活動します(夜行性)。野外に餌の少なくなる冬期に「食」と「住」を断つことで、ハクビシンの効果的な駆除に努めましょう。

対策のポイント

- 1生ごみは野外に放置しない
2収穫しないで残った野菜などはすき込みなどで土中に埋める
3収穫しないで木に残っている果実は摘み取って処分する
4墓の供物は持ち帰る
5建物の屋根裏や床下などに進入できる隙間をふさぐ(6センチ程度の隙間で侵入します。雨樋や電線を渡るなどして侵入することもあります)
6納屋などはこまめに見回る
7神社仏閣、集会所などは地域で見回る
8有害捕獲を行う(ハクビシンは、申請により捕獲が許可された場合は、わな猟免許がなくても箱わなによる捕獲ができます。箱わなの貸し出しも行っていきます)
◇捕獲許可申請・箱わな貸し出し...本庁農地林務課または各支所産業経済課
◎問い合わせ先...市鳥獣被害防止対策協議会事務局(本庁農政課内)☎28427

※広告に関するお問い合わせは、岩手日日新聞社☎265111まで。

2012 新作ドレス大展示会 12.1(thu)~25(sun) ブライダルサロン 七福人 10:00~18:30 [水曜定休日]
毎週イベントも開催!! 12/10-16 「こだわりの大人ドレスフェア」 12/17-22 「和の花嫁フェア」 12/23-25 「はじめての試着会 & お下見フェア」
Bridal Salon SHICHIFUKUJIN 七福人
〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字慶徳44-1 ☎0120-188-500 TEL0197-23-8555 info@bs-shichifukujin.com http://www.bs-shichifukujin.com

一関ケーブルネットワークへご加入の皆様へ 地上デジタル 11ch
ケーブルテレビ&インターネットのお申し込み・お問い合わせは 岩手日日新聞社グループ ICN 株式会社 一関ケーブルネットワーク
TEL0191-21-1256 FAX0191-21-2959
お徳なNHK団体一括支払い! 「団体一括支払」とは... NHKの衛星受信料をケーブルテレビの利用料と一緒に一括でお支払いいただき、ケーブルテレビ局がNHKへ一括して支払うことで、皆様の衛星受信料が割引される制度です。
受信料額表(消費税込) 2か月払額 6か月前払額 12か月前払額
通常のお支払い 4,580円 13,090円 25,520円
ケーブルテレビの団体一括支払 4,180円 11,890円 23,100円



わたしの夢 | <第2回> | 南小

いろいろなことにチャレンジ。
進んでボランティアできる
心の優しい人になりたい。

DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

及川涼香さん

おいかわ・りょうか
南小6年 真柴宇中田

私は南小学校の児童会長をしています。体を動かすことが好きです。陸上大会のリレーで優勝しました。剣道のスポーツ少年団に入って、週2回、練習しています。吹奏楽委員会でトランペットをしています。他にもいろいろなことにチャレンジしています。中学生になったら勉強を頑張りたいです。大震災で活躍した人たちのように、困っている人のために進んでボランティアできる心の優しい人になりたいです。

編集後記

▼私の夢に登場していただいた及川さん。自分の夢ややりたいことを笑顔で答えてくれました。こどもたちの夢や希望がかなうような穏やかな年が迎えられるように。よいお年をお迎えください。

(伊東吉光)

▼栗駒山麓に広がる本寺地区は、皆さんも通ったことがあるなじみの場所です。朝、夕その表情を変える原風景は、絶景という言葉がかすむ逸品。そこに暮らす人たちがまたいいんです。皆さんもぜひ足を運んでください。

(畠山 浩)

▼表紙の写真、いかがでしたか？いつもの色鮮やかな表紙に代えて、ノスタルジックなモノクロ。ノリに乗っている後輩に負けないよう、久しぶりに里帰りした被写体の力強さを表現したくて、撮影を重ねました。

(小野寺邦毅)

▼今回の特集を組むため、本寺へ毎日のように通いました。なんとか書き上げることができたのは快く取材に応じてくれた皆さんと、隣の席から「早く書け」とプレッシャーをかけたくれた先輩のおかげです。

(佐藤正利)

▼今月はたくさんのお年寄りの笑顔に会いました。運動やおしゃべりをしたり、みなさんともって元氣。今回百歳を迎えた6人の共通点は何でも食べること。なるほど。元氣に年を重ねるためには食べ物の好き嫌いはいけませんね。

(新田 瞳)